

川崎医療福祉大学

問い合わせ先●入試課
〒701-0193 倉敷市松島288
TEL (086) 464-1004(直) FAX (086) 464-1057
●https://w.kawasaki-m.ac.jp



スマートフォンで
資料請求！

学部ガイド 人・社会・文化の今を学び、未来を先導・創造する5学部17学科

医療福祉学部

●医療福祉学科

病気や障害があっても、誰もが安心して暮らせる社会をつくるスペシャリストがソーシャルワーカーです。その国家資格である社会福祉士と精神保健福祉士の取得に向けて、病院や福祉施設、社会福祉協議会、行政機関、学校等での多様な実習が充実。生まれる前から亡くなった後まで、人生に起こるさまざまな困りごとに向き合い、本人だけでなく家族や地域、社会や政策にも働きかけ、解決を図る「実践力のあるソーシャルワーカー」を育成します。



●臨床心理学

臨床心理学は、人間が抱える心の問題の解決や健全な心の育成、良好な対人関係づくりをめざす実践の学問です。本学科では、医療・福祉の分野を中心に、心理的な援助を必要とする人々の苦悩について、科学的に理解し、心理検査や心理療法などの知識や技術を生かして個々に応じた心理的援助サービスを提供できる人材を育てます。卒業生は、企業、病院、福祉施設、警察・司法施設、教育関係施設に就職しているほか、大学院につながる一貫した教育で、公認心理師、臨床心理士を養成しています。



●子ども医療福祉学科

私たちは、「楽しむ」ことが「保育」の始まりであり、子どもは「あそび」を通して成長・発達していくと考えています。共生社会の時代において、多様化する保育ニーズを捉え、いかなる時でも、「あらゆる子どもと保護者」に寄り添える保育者の養成を目指します。



保健看護学部

●保健看護学科

保健看護学科では、看護ケアの基礎的方法論や、それを社会のなかで活用するための保健活動論などの実践的なカリキュラムを編成し、チーム医療の調整役となる新しい時代の看護師、保健師を育成します。人々と喜びや悲しみをともに分かち合いながら命を守る豊かな人間教育

を重視し、健康から疾病までを一連のスペクトルととらえた保健・看護の専門知識・技術を修得します。保健、医療、福祉の幅広い分野での活躍が期待されています。



リハビリテーション学部

●理学療法学科

高齢者や障がい者の機能回復や、生活の自立及び社会参加を支援できる専門知識・技術と豊かな人間性の備わった理学療法士を養成します。近年では心疾患や呼吸器疾患、スポーツ医学の分野でもニーズが高く、リハビリテーションを推進するチームの一員として活躍が期待されています。



●作業療法学科

作業療法士は、発達期から高齢期まで人生のあらゆるステージの方々のこころ・からだ・くらしを支えるリハビリテーション専門職です。当学科は、充実した教育環境と全国屈指の教員数を誇り、手厚いサポート体制で高い国家試験合格率と就職率を維持しています。



●言語聴覚療法学科

言語発達やコミュニケーション、食べることの障がいに対して支援を行う言語聴覚士を養成します。検査や症状の分析を正しく行うための知識と技能を身につけ、患者さんと信頼関係を築き、チーム医療を担うことができる豊かな人間性を育みます。



●視能療法学科

視能障がいの症状や病態の科学的な分析と評価、斜視や弱視の訓練指導、低視覚者へのリハビリ指導、健診業務を適切に行い、生活の質の向上を支援できる視能訓練士を養成します。また、チーム医療に必要なコミュニケーション能力や協調性を育てます。



医療技術学部

●臨床検査学科

臨床検査学科では、卒業後直ちに医療現場や関連企業で活躍できる人間性豊かな臨床検査技師の養成をめざします。臨床実習を通じて、実践的な技術や知識、接遇などの能力、さらに臨床検査学における探究心を広く身につけます。



●診療放射線技術学科

診療放射線技師はCTやMRIなどの最先端の機器を取り扱い、チーム医療において重要な役割を担っています。基礎から応用までを系統的に学び、後に開講される専門基礎や専門科目の学修が容易になるように工夫しています。



●臨床工学科

いま医学と工学を融合した「臨床工学」分野の発展には、医学的知識と工学の知識・技術をバランスよく身につけた人材が必要とされています。本学科では、医療現場や医療機器関連企業で活躍できる臨床工学技士の養成を目的として、医療従事者としての教養及び臨床工学の知識と技術を修得していきます。カリキュラムは医学系、工学系、臨床工学系の科目をバランスよく組み合わせ、各科目間の連携を綿密に取りつつ講義・実習を行っていきます。これらのきめ細かな指導により、臨床工学技士国家試験の合格者数は西日本でトップを維持し、毎年高い就職率を誇っています。



●臨床栄養学科

急速に進行する少子高齢社会にあって、高度で臨床的な栄養指導を行う人材育成が必要とされています。本学科では豊富な演習科目と臨地実習を重視したカリキュラムにより、栄養ケアの専門職としてチーム医療に参加し、「命を守る医療」を支えることのできる管理栄養士の育成をめざしています。さらには臨床・福祉・栄養といった分野での研究者への道も開けています。



●健康体育学科

健康増進に対する人々の関心が高まるとともに、健康科学や医学・体育学の知識を有する実践的なトレーナーや指導者の育成が求められています。健康体育学科では、健康づくりに関する科学的な根拠に基づいた理論と実践をしっかりと学び、子どもからお年寄りまで



の各ライフサイクルに応じた的確な運動処方の提供と適切な実技指導が行える「健康づくり」の指導者の育成をめざしています。また、2022年4月から社会で活躍できる救急救命士を育てるための養成コースを開設しています。

医療福祉マネジメント学部

●医療福祉経営学科

医療福祉機関を効率的に経営するマネジメント専門職を育成します。医業系管理能力を測る医業経営管理能力検定をはじめとして、医業経営コンサルタントの資格取得もサポートします。経営学プラス医療福祉系科目修得は、少子高齢社会を迎えたあらゆる業界から期待されています。



●医療情報学科

医療DXの進展により、医療分野でのIT化が急速に進んでいます。患者データの収集・分析が医療サービスの質向上に貢献し、高度な情報技術を持つ専門家がますます求められています。本学科では、AIやビックデータ解析、バイオインフォマティクスなどの最先端技術を学び、健康医療福祉を重視した次世代の医療DXリーダーを育成します。



●医療秘書学科

全国で唯一の四年制医療秘書学科です。院長秘書職はもとより、医師の診療・研究・教育活動をオールラウンドに支えることのできる医療系事務職を育成しています。医療DXが進む中、ICTを活用した段取りマネジメントの技能を用いて、医療チームが最高のパフォーマンスを発揮し質の高い医療を提供できる病院マネジャーを育成します。



●医療福祉デザイン学科

デザインという創造的な行為によって、今日の多様化する医療福祉現場の課題に対して積極的に対処できる能力を持った人材を養成します。本学科では、医療福祉の知識も備えたうえで、ユニバーサルデザインを理解し、またイラストレーション能力を活かして医療福祉業務を高度にアシストする技術を学びます。卒業後は、一般的なデザイン職に止まらず、医療福祉施設の広報担当やメディカルイラストレーター、医療・福祉に精通したグラフィックデザイナーや医療・福祉機器デザイナーなど多方面での活躍が期待されています。



